

【大分県 佐伯市】

校務DX計画

校務DX化の現状及び今後について

1. 校務DX化の現状について、現状は以下の通りである。

- ・ 県内統一で導入を行った統合型校務支援システムを使用することによって、広域異動等された教職員の負担軽減を図っている。
- ・ 教育委員会からの通知に限らず、メッセージが出来るグループウェアを活用し、業務のペーパーレス化及び負担軽減を図っている。
- ・ 市内共有ファイルサーバを使用して、グループウェアでのやり取りに限らず提出や様式等の共有を行っている。
- ・ オンライン型研修を取り入れ、学校に居ながら研修を受けることを行っている。
- ・ AIドリルを活用している。

2. 校務DXの課題

「GIGAスクール構想の下での校務の情報化に関する専門家会議」の提言や「GIGAスクール構想の下での校務DX化チェックリスト」による自己点検の結果等を勘案し、チェックリストに示されている、教育委員会及び学校が教育DXを推進するにあたり、課題は以下の通りである。

- ・ 校務におけるAI技術の取入れについて
- ・ ネットワークが校務系および教育系に分かれていること

3. 今後の取り組み

- ・ 校務におけるAI技術の取入れについて検討を進める。
- ・ 今後の教職員の働き方を想像し、ネットワークの統合やいわゆるゼロトラストの考え方の導入について、県内他市町村の動向を確認しつつ、検討を進めていく。
- ・ FAX・押印の原則廃止に向けての調査・研究を進める。
- ・ クラウドを活用した次世代の校務システムの導入に向けた検討や不必要な手入力作業の一扫に向けた調査・研究を進める。